

資料提供
大阪市政記者クラブ
報道各位

主催 一般社団法人 ミナミ御堂筋の会
(大阪市指定・道路協力団体/TEAM EXPO 2025「共創パートナー」)
代表理事 高橋 勝彦
NPO 法人 御堂筋・長堀 21 世紀の会(大阪市指定・道路協力団体)
理事長 小室 孝裕
問合せ先 一般社団法人 ミナミ御堂筋の会 事務局
(株式会社地域計画建築研究所(アルパック))
担当:竹内・絹原・竹林 電話番号:06-6205-3600
NPO 法人 御堂筋・長堀 21 世紀の会 事務局
電話番号:06-6755-8130



「御堂筋チャレンジ 2023」

2025 めざしてスマートな御堂筋をつくる社会実験のご案内

大阪市建設局と道路協力団体が協力して道路空間の利活用を進める「御堂筋チャレンジ 2023」を下記要領で開催します。

5回目となる今回は、万博 500 日前を控え「スマートな御堂筋」をつくる社会実験。全国で最初に指定された「歩行者利便増進道路」(通称:ほこみち)上で、大阪市、国、道路協力団体が地元の方々とも連携し、広がった歩道空間で先端技術の実証、多彩な利活用を行います。また、ビッグデータを取得しながら、ミナミエリア全体の滞在・回遊行動を促す大規模な実証実験なども実施します。

なんば広場(仮称)の先行オープンもあり、ますます目が離せないミナミエリア。万博時に、御堂筋が「世界最新モデルとなる、人中心のストリート」として、世界中の方々に体感していただけるよう、官民が連携して取り組みます。報道機関におかれましては周知たまわり、取材ご希望される際はご連絡をお願いいたします。

【今回の社会実験のポイントご紹介！】

①シテイドレッシングやほこみち歩道空間活用を、官民で多彩に展開

店からみちへ飛び出した
「COFFEE CITY FESTIVAL」
＜パルコ前:11/24-26＞

Produced by PARCO



街のカルチャーはコーヒーショップによって作られる。コーヒーショップの思いと人にフォーカスした「COFFEE CITY FESTIVAL」を御堂筋・ほこみち上で開催します。

国内外の方々を楽しめるストリート・イベント！
「座・御堂筋」＜11/4・5＞
「アメ村 POPUP」＜11/25・26＞



こだわりの作品や書籍、服など、インバウンドの方も歩道で楽しめるアートイベント・ポップアップイベント。万博に向けて御堂筋をジャックしての定期開催をめざしています。

みんなの力で大阪のまちにみどりを
「SHINSAIBASHI グリーンプロジェクト」
＜大丸前:11/7-＞

Produced by DAIMARU



大丸心齋橋店従業員食堂から出る生ごみを堆肥にして、御堂筋の花壇の土に活用。11/7 にお花植えを行い、御堂筋の緑化への取り組みをスタート。

官民協働で万博に向けたおもてなし
「シテイドレッシング」



万博を盛り上げる「シテイドレッシング」(まちの演出)のバナー掲出やハンギングフラワー設置を実施。道頓堀～千日前通東側では花を愛するボランティア団体「花輪人プラス」(TEAM EXPO 2025「共創パートナー」)によるスペシャル花壇がお目見え。

②公道上での新たなモビリティの実証実験

Produced by ゲキダインイノ

iino.
5km/h

万博に向けたモビリティ実証の場として、時速 5km で自動走行するモビリティサービス iino Type-S 1300・S 712 の 2 種類の車両を用意。(Type-S 1300 の公道上での実証実験は国内初) 歩行者とモビリティとの共存のあり方を体感していただきます。

実施イメージ



Type-S 1300



Type-S 712

③ウォーカブル・ミナミ:ストリート×デジタルで観光・来訪の質と魅力 UP 最先端回遊創出実験

インバウンド増加などにスマートな技術で対応し、来てよかったミナミ・また訪れたいミナミを創るため、デジタル案内板による回遊促進・混雑緩和の実験、インバウンド客などの人流データや、購買決済データ等を活用した効果分析を実施します。



データ取得分析イメージ



このプロジェクトはテレビ番組にも取り上げていただき、大きな反響がありました。

このほか、大阪国道事務所による道路上での最先端技術の実証(DX・GXの取組み)も行われます。

④ミナミ・クリーン・ストリート:放置自転車対策、環境浄化を官民協働で実践

市民の方や訪日客の安全で快適な歩行、消火活動などを阻害する放置自転車解消にむけて官民でワーキングを設置、自転車が放置される原因究明と、効果的な啓発や撤去の3点セットで対策を検討し、10月から具体的なアクションを展開します。

※詳しくは、10月26日(木)午後1時30分より市政記者クラブでワーキングメンバーよりご説明の機会を設けますので、ご参加をお願い致します。



※写真は全てイメージです。

1 日時:令和5年11月4日(土)~11月30日(木)

2 場所:御堂筋 新橋交差点~難波駅前交差点区間

3 概要:

- ・新たなモビリティの実証実験
- ・最先端技術の展開(路面太陽光発電や LED 照射機による通行位置の明示など)
- ・路上イベントの開催・ベンチ等を設置した滞留空間づくり
- ・万博時のシティドレッシング(花飾りやデジタル案内板の設置など)
- ・放置自転車が歩行者へ与える影響や適正な道路活用方法等を検証

4 関連イベント等:

- ・御堂筋イルミネーション 11月3日(金祝)~12月31日(日)
- ・なんば広場(仮称)先行オープン 11月23日(木祝)
- ・道頓堀リバーフェスティバル 2023 11月25日(土)・26日(日)

5 添付資料

社会実験「御堂筋チャレンジ 2023」フライヤー

※社会実験の詳細は、ミナミ御堂筋の会ホームページで随時ご案内します。

<https://minami-midosuji.net/> 右の QR コードからもどうぞ。



（別紙）団体の概要

●一般社団法人ミナミ御堂筋の会 <https://minami-midosuji.net/>

ミナミ御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体として、2015年7月に設立した、ミナミ御堂筋の沿道企業体。2021年7月に一般社団法人に移行。

これまで、御堂筋イルミネーションへの協賛や建築家隈研吾氏を招いた講演会を実施するとともに、沿道協議会の一員として御堂筋道路再編事業、社会実験「御堂筋チャレンジ」への参画。また、大阪市指定道路協力団体となり、放置自転車対策ほか沿道の適正化、維持管理等にも取り組む。



●NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 <http://www.nagahori21.or.jp/>

当会は長堀、心斎橋、南船場の様々な企業・商店を中心に1982年に発足し今年には節目となる40周年を迎える。2001年にはNPO法人化し、現在約140の企業や個人で組織されているクリエイティブな団体。

“おしゃれな大人の散歩まち～世界に誇るブランドストリートに～”を街づくり憲章に掲げ、「人中心の道づくり」を核とする提言活動を続けてきた。

また、御堂筋や長堀通を軸とした沿道街づくりを目的として、イベント運営、環境保全（不法駐輪、放置看板）、美化活動、親睦・交流等の活動を行なっている。



●御堂筋沿道・道頓堀以南区間整備協議会／道頓堀川北詰～長堀通区間整備協議会

御堂筋の道路空間再編にあたり、官民協働の組織として沿道協議会を設立し、大阪市の協議や、よりよい道路空間のあり方について協議を重ねている。

（道頓堀以南区間整備協議会）

モデル整備を官民連携で実現していくため、町会・商店会と沿道地権者団体、関係団体からなる協議組織として設立。平成28年11月20日の供用開始時に、「世界に誇る安全・安心で快適なメインストリート宣言」を発表し、整備後のあり方についても議論を重ね、活動に取り組んできた。

令和4年9月には道頓堀以南で一体化した協議会とし、整備に向けて望ましいデザインや地域の取り組みについて協議を重ねている（代表：精華連合振興町会会長 本間 一成）。



（道頓堀川北詰～長堀通区間整備協議会）

道頓堀川以南に次いで、以北のモデル整備を官民連携で実現していくため、町会・商店会と沿道地権者団体、関係団体からなる協議組織として設立。自転車部会による活動など、同と整備とあわせた地域課題にも力を注いでいる（代表：御津連合自治会会長／鰻谷西之町振興町会 会長 松田 淳一）。



以上